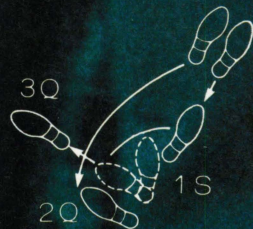




「カラカス」

浮気な妻、爬虫類好きの夫。
憎しみと情熱が二人を
死への戯れへとかりたてる。



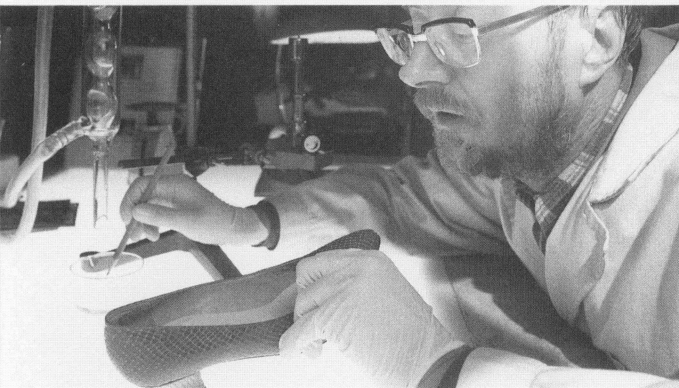
Caracas

監督 ミハエル・ショッテンベルク
'89年カンヌ映画祭監督週間出品作品
'89年カンヌ映画祭青少年審査委員会賞受賞
1989年/オーストリア映画/カラー
配給: ハルコ/後援: オーストリア大使館
協力: オーストリア航空

「カラカス」

カンヌ映画祭でオーストリア映画が初めて受賞
(PRIX DE LA JEUNESS)(青少年審査委員会賞)
批評家ではない、一般の青少年によって選ばれる
この賞は、観客に最も近い賞である。

'89カンヌ映画祭監督週間出品作品 '89カンヌ映画祭青少年審査委員会賞受賞



STORY

田舎町のガソリンスタンド。商売がうまくいかない主人のハインツは、トカゲやイモリなどの爬虫類を飼育することに情熱を傾け、日頃のうっ憤をはらしている。一方、妻のヘルガといえば、夫には愛想をつかして、浮気とダンスにしか興味が無い。彼女は今日も、コンクールを目指してダンスの特訓中である。ある日、ヘルガに瓜二つの娼婦に出会ったハインツは、この状況を打開する完全犯罪を思いつく。自動車事故を装った殺人を実行し、その娼婦に妻の座を与えるのだ。計画は周到に行われ、金と女を携えて、ペルーの街カラカスへ高飛びしようとするのだが……。

STAFF

監督:ミヒャエル・ショッテンベルク
脚本:ミヒャエル・ホロヴィッツ
ミヒャエル・ショッテンベルク
撮影:ヴァルター・キントラー

CAST

ヘルガ・ホプナー/娼婦(二役):レグラー・ビル
ハインツ・ホプナー:ゲルハルト・ツェーマン



1989年/オーストリア映画/カラー/1時間31分/配給:パルコ
後援:オーストリア大使館/協力:オーストリア航空

6月2日(土)より6月15日(金)まで
レイトショー上映

上映時間 ■ 20:30より(毎日一回のみ)

当日料金

一般/1600円 大高生/1300円
中学生/1200円 シニア/1000円

パルコ調布キネマ

京王線調布駅北口前調布パルコ6F TEL 0424-89-5115



INTRODUCTION

『パリ、テキサス』を思わせる田舎町のガソリンスタンドで企てられる完全犯罪。赤いハイヒール、夜の闇を走るトラックなど、徹底的に様式化されたビジュアル。パーシー・アドロン『バグダッド・カフェ』やビル・フォーサイスの『ローカル・ヒーロー』にも共通する奇妙な感覚。これらの要素をすべて持つ本作で監督デビューしたのは、オーストリアの新鋭ミヒャエル・ショッテンベルク。オーストリア演劇界で俳優・演出家として活躍中の彼は、演劇・TV・映画界からスタッフ・キャストを選りすぐり、独自の映像空間をつくり出した。

なお、この作品は'89年カンヌ映画祭において、一般の青少年によって選ばれる青少年審査委員会賞を受賞した。ショッテンベルクはこの一作で、パーシー・アドロンやビル・フォーサイスと肩を並べるのは間違いない。



殺人に至る感情のシミュレーション 監督 ミヒャエル・ショッテンベルク

孤独、愛、欲望、嫉妬、憎しみ、殺人、死——これらは、世代を越えたテーマであり、私はこれらを素材にして映画を作りたい。構想を練っていると、これらの素材が枝分かれして様々なものになり、人生全体とつながるように思えた。映画を作るなどというのは、それだけで既に不正行為であると言える。罪もない人々を2時間も閉めきった部屋に閉じこめて、一方的に映像と音を浴びせるのだから。それだからこそ、私は映画作りに対して興味を持ち、この作品で念願を果たした。この作品のテンポは、主人公ハインツ・ホプナーの精神状態と一致している。彼が耐え忍んだ日々からラストに至るまで、一貫して彼のメンタルなスピードに沿っている。観客の皆さんには、観ている間、彼と同じ感情の起伏を経験してもらいたい。

